

# 令和4年美濃市長選挙 候補者アンケート

## 武藤 鉄弘 氏 アンケートのご回答

### 1) NPOや市民団体への期待について(300字以内)

現代社会では社会的課題が多様化し、課題解決のために様々なNPOや市民団体などが活動しています。美濃市のより良い地域づくりのために、NPO等に期待していることはありますか。

はい

いいえ

その他

詳細

NPOや市民団体の活動は、市民福祉にとって大変重要であります。山間部と平地部との違い、年齢階層の違いや住民同士のつながりの違いなどがあり、一律の政策では目的が達成されません。従いまして、NPOや市民団体は個々に迅速に対応できる組織として認識しています。

代表的なものでは、「洲原ひまわりの里」や「市民音楽劇プロジェクト」などが広く知られているところですが、このほかにも多くの市民団体がさまざまな分野において活躍しています。こうした団体には、それぞれが解決したい課題や取り組みたい活動などを、行政ではない、民間ならではのアイデアとスピード、行動力で実施していただくことを期待しています。

### 2) NPOや市民団体への活動支援施策について(300字以内)

美濃市の第6次総合計画では、地域づくり活動の活性化施策として、地域の絆づくり事業など、NPO等の活動を支援する施策が実施されています。現在、地域の絆づくり事業では、補助対象となる事業「伝統文化の保存・継承」「安心・安全」「子育て」「自然の保全や環境づくり」の4種類が設けられていますが、この分野だけで足りると考えますか。また、地域の絆づくり事業以外にも必要な支援施策がありましたら、具体的にお答えください。

はい

いいえ

その他

詳細

市が実施する「地域の絆づくり事業補助金」という制度の概要を示す「要綱」には、ご指摘の4分野以外にも、「次代を担う青少年の健全な育成」や「教育・文化・福祉・産業その他の指導的・先駆的人材の育成」も対象事業とすると明記しています。

そもそもこの制度では、「地域の絆やつながりを深め、地域活性化の効果が期待できる事業」や「広範な人づくりに効果が期待できる事業」であれば対象とするとしていますので、効果が認められる内容であれば、設問にある分野以外の事業であっても、支援できる制度となっています。

この制度では、NPO法人設立にかかる支援制度もメニューに含まれていますので、いつでも相談に来ていただいて構いません。

### 3) NPO や市民団体との協働関係の構築について(300 字以内)

美濃市は、『岐阜県ホームページ NPO・ボランティア「協働」を推進する制度』の資料内「協働を推進するための条例、要綱、指針などを作成しているか。」という質問の回答で(検討中)とされています(R3.4.1 現在)。

今後も NPO や市民団体と協働して地域づくり活動を実施していくために、条例などの策定が必要だと思いますか。不要な場合の理由、必要な場合は協働を促進するための具体的な施策や策定までの手順(市民と共同で進めるか等)についてお答えください。

はい                      ・                      いいえ                      ・                      その他

詳細

令和3年3月策定した「美濃市第6次総合計画」は、市民協働で策定したもので、市の最上位計画です。

この第6次総合計画の中では、「市民と共に創るまち」という考え方を基本理念とし、NPOや市民団体のみならず、美濃市に関わるすべての人たちが力を合わせて美濃市を創り上げていくこととしています。従いまして、最上位計画の理念をもって十分条例の趣旨が生かされていることから、当面、協働推進するための条例等の制定は考えていませんが、施策の中で、市民活動全般にわたり「地域の絆づくり事業」などで財政支援したり、行政と市民が協働して事業を実施することとしていることから、補助金や事業の推進手順を示す中で対応してまいります。

ご協力ありがとうございました。